

白磁 NEWS

VOL.16

ポートレートが映える白磁たち。

定番の陶板から、ちょっと装飾のあるプレートまで。
フラットで描きやすい白磁を揃えました。

ホワイトボード 各種
¥840 ~ **¥672** ~

※写真はほんの一部です。
15cm程度のものから
38cm程度のものまで、
さまざまな大きさ、形状のもの
をご用意しています。

制作例



807517
ペイントアートフレームS
¥1,100 **¥880**(長辺18.2cm)
※他にMサイズ、Lサイズがございます。

805734
カントリープラーク
金具付
¥1,690 **¥1,352**
(長さ26cm)

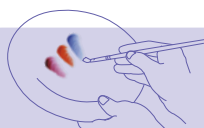
805733
ヨーロッパンプラーク
金具付
¥810 **¥648**
(長さ14.7cm)

805731
デコレーションプレート(S)
¥1,250 **¥1,000**(長辺16cm)

805732
デコレーション
プレート(L)
¥2,000
¥1,600
(長辺26cm)

¥は陶画舎メンバーズクラブ会員様価格です。

通常価格より白磁20%割引・道具10%割引。メンバーズクラブについて詳しくはHP・お電話でお問合せください。



器はキャンバス。—陶画舎講師のよもやまコラム—

人物を描きたいけど、難しそうでなかなか手が出せないという方は多いのではないのでしょうか。『人物画=難しい』その通りだと思います。そもそも簡単に描けるものはありませんが、人物を描くことに対しては特に難しいというイメージが強いようです。どうしてなのかと考えてみると、絵付の作品においてお花はモチーフとして手に入れやすく作品も多く見かけますが、人物は描く機会が無く教えてもらえる場も少ないので身近に感じられないことがハードルを高くしてしまっているのではないのでしょうか。そして、人には肖像権というものがありますので、本人に断り無く作品として発表できないことと、モデルになってくれる人を見つけるのもなかなか大変なこともあります。また、一言で『人物』と言っても実際に描くことになると、『目、髪、肌、手、口(口の中が見えていれば歯や舌)、身に付けている服、ネックレスやイヤリング等々…』といった質感の違う要素の多いことも難しさの一つだと思います。

では、これらの人物を描くことに対するハードルを下げて苦手意識を解消していきましょう。まずは作品として発表しない、不特定多数の方の目に触れないということを前提に、描きたいと思う写真を見つけてみましょう。自分好みの顔は描いていて楽しいものです。そのときになるべく要素を少なくするようにトリミング(不要な部分を排除)し、顔を描くことだけに集中できると良いと思います。そして、どう描けば良いのか分からないまま、とにかく描きましょう。誰にも見せなければ何を言われることもないので、結果を気にせず気に入った写真の人物をたくさん描いて経験値を増やしましょう。同

じ写真を何度も描くということも、自分で上達の跡が見られるので良いと思います。そうすることで、理屈の前に感覚として『上手く出来た部分、反省点、次はここを気をつけよう』といったことが出てきます。これを楽しみながら繰り返していくと、いつの間にか人物を描くことに対する抵抗がなくなり、今度は誰を描こうかなという制作意欲が出てくると思います。

絵付をするうえでは器選びも重要です。やはり、慣れないモチーフを描くときには『描きやすい形状』の白磁を使いましょう。一番描きやすい物はやはり凹凸やレリーフが無い平らな物だと思います。長方形、正方形、丸型、楕円型など大小のサイズがありますので『使い慣れた筆で無理なく描ける人物の大きさ(大き過ぎたり小さ過ぎて描きづらくならない大きさ)』が程良く入る物を選びましょう。使う色については人物を描くときに使いやすい色を集めたメインカラーの『ポートレートシリーズ』の絵具がおすすめです。今年は是非、ポートレートにチャレンジしてみてください。(原宿陶画舎講師/勝俣由治)



制作例